

東北地方太平洋沖地震 連合救援ニュース

発行 連合災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547 soshiki@sv.rengo-net.or.jp
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.ituc-rengo.or.jp/>

3月11日14時46分頃発生した東北地方太平洋沖地震に被災された多くの皆さまにこそよりお見舞い申し上げます。

1. 中小企業庁に緊急対策を要請

連合本部は、3月29日午後3時、経済産業省別館において、高原中小企業庁長官に、東北地方太平洋沖地震への緊急対策についての要請を行いました。(別添「要請書」参照)

冒頭、團野副事務局長は要請項目について説明するとともに、現下の緊急対応も含め、東北地方の再生のための中長期のマスタープランづくりを急ぐことが重要であると強調しました。



高原長官(右)に要請書を手渡す團野副事務局長

高原中小企業庁長官からは、「中小企業の資金繰りについて雇用を確保するためにも重要であるとし、中小企業庁としても第一次補正予算に盛り込む予定としながら、中小企業労働者の雇用維持のためにも雇用調整助成金の弾力的な利用や社会保険料の減免について連合からもさまざまな場面で働きかけていただきたい」との発言がありました。

<要請のポイント>

- 資金繰り等の金融対策の拡充
- 企業再生支援の実施
- 中小企業労働者に対する支援について

2. 「万全の受け入れ態勢整う」 連合岩手

連合岩手災害救援本部は、県内に2箇所(宮古地区・東和地区)のボランティアセンターを設置し、全国の仲間を万全の体制で受け入れるため準備を進めています。

3月30日には施設の整備や生活物資の搬入などを行い、参加者の皆様が作業に集中できるよう連合岩手の役職員一丸となって取り組んでいます。

岩手県内の被災地は沿岸部に集中し広範囲であること、ボランティアの窓口である各自治体の社会福祉協議会自体が被災しているため機能しきれていないことなど不透明な面もありますが、地元からは連合ボランティアの活動に大きな期待が寄せられています。全国の仲間の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。



連合岩手の街宣車

3. 在日ビルマ人の皆さんからカンパ金を預かりました

連合救援ニュース No.7 でご紹介しましたように、労働運動や民主化に取り組んでいる在日ビルマ人の皆さんは、震災被災者を支援するためのカンパ活動を行っています。

3月30日、在日ビルマ人ホテルレストラン労働組合(HRWUB)とビルマ日本事務所(BOJ)の皆さんが、集めたカンパ金を届けに連合本部を訪れました。

被災された方々への心からのお見舞いとともに、連合の被災地支援ボランティア活動や街頭での救援カンパ活動にも積極的に参加していきたいとの温かい言葉をいただきました。



左から トウン・ウーHRWUB 情報局長、ヌエヌエ・ウー同女性局長、ミャーミャー・チョウ同副委員長、南雲事務局長、マウン・ミン・ニョウ BOJ 事務局長、アウン・チーHRWUB 情報局長、ミン・アウン・カイ同第2副書記長

4. ホテルラングウッドから義援金

3月30日、連合が会議等で利用しているホテルラングウッド(東京)から義援金30万円が届けられました。

今回の震災ではホテルラングウッドの親会社である株式会社グリーンハウスも東北方面の各事業所が被害を受け、現在、復旧に全力を挙げているとのことで、連合の取り組む救援カンパ活動やボランティア救援活動への激励のご挨拶を頂きました。

また、ホテルラングウッドでは、被災者の方々や復興支援でのボランティア活動に従事される方々に、特別料金でホテルを用意されるご案内がありました。

ホテルラングウッド関連で被災された事業所、従業員の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、義援金、激励に感謝申し上げます。



左から南雲事務局長、古賀会長、グリーンハウス高橋取締役、ホテルラングウッド田中総支配人、藤井総支配人付け顧問

以上